

～ 第2回定例市会 9月議会報告 ～

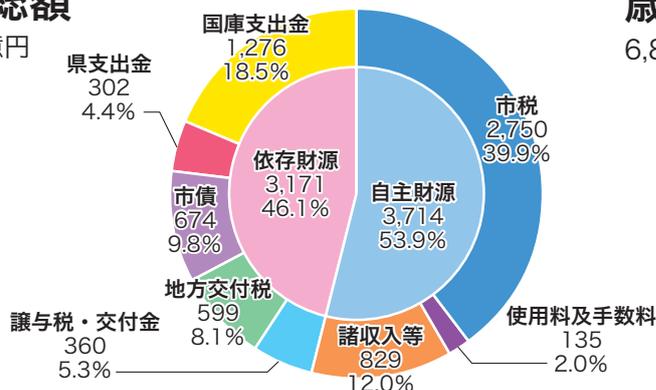
平成26年度一般会計決算は、企業業績の改善に伴う法人市民税の増などにより市税収入が増加したことに加え、職員総定数の削減など「神戸市行財政改革2015」に基づく取り組みを着実に実行したことなどから4年連続で財源対策によることなく実質収支の黒字15億6,800万円を確保することができました。

しかし、中長期的には少子・超高齢社会の進展に伴い社会保障費・医療費が増え続けることなどから、引き続き厳しい財政状況が予想されています。

■一般会計歳入歳出決算(平成26年度)(単位:億円)

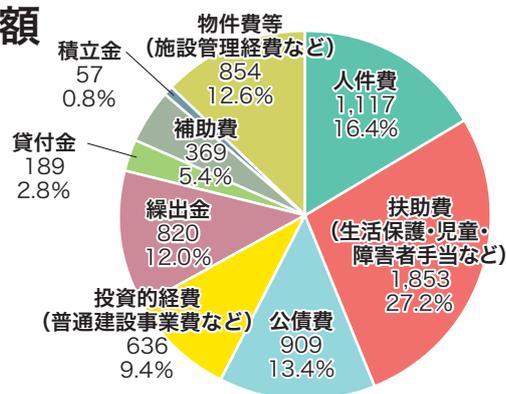
歳入総額

6,885億円



歳出総額

6,804億円

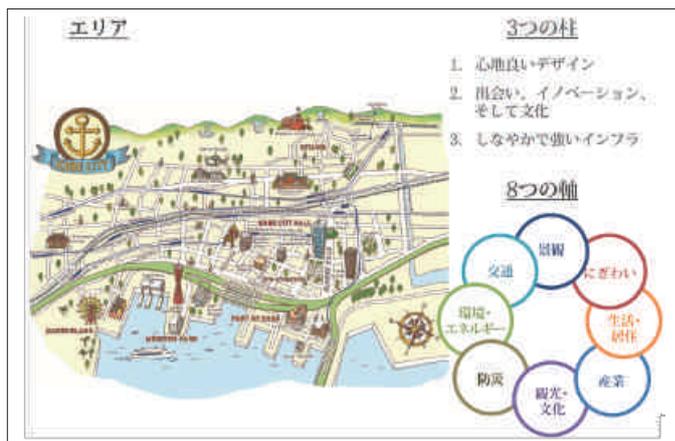


神戸の都心の未来の姿[将来ビジョン] & 三宮周辺地区「再整備基本構想」

神戸市は、神戸の都心を大胆に活性化していくため、新神戸～三宮～元町～神戸・ハーバーランドを対象に、**神戸の都心の未来の姿[将来ビジョン]**を取りまとめました。

また、三宮周辺の再整備は、神戸のまちや経済全体を活性化するうえで不可欠なことから、事業化を見据えて**三宮周辺地区の『再整備基本構想』**を策定しました。

詳細は神戸市ホームページ「**都心・三宮の再整備**」をご覧ください。



‘カジノ型’ デイサービスを規制

パチンコやマージャンなどの遊技を常態的に提供する‘カジノ型’デイサービスは、遊技を常時主体とするもので適正なサービスであるとは考えられず、過剰で不必要な介護サービスにつながるおそれがあることから、一定の規制を行なうための条例改正案が9月議会に提案され、可決成立しました。